

活躍しています



昨年10月に誕生した狭山市女性消防団員。「自らの地域は自ら守る」という奉仕と郷土愛のもと、普段は会社員や学生など、それぞれ仕事や学業に励んでいる12名が活動しています。



市民の皆さんに親しみを感じていただくこと、愛称とロゴも決めました。「CHARMY」(チャーミー)という愛称は、市の特産である「狭山茶」と、人の心を引き付け、魅力的という意味のチャーミングを合わせた造語です。また、ロゴに描かれているのは、



防火服を着た子どもと活動服を着た団員をイメージしています。母として、ひとりの女性として、ほ

ほ笑ましくもあり、頼りがいもある、そんな姿を理想としています。活動理念は「市民がいかなるときも健やかに過ごせるように、知識・見識を深め広げていく」こと。女性ならではの視点を活かして、火災予防に関する広報活動や応急手当の普及啓発活動、大規模災害発生時の情報収集支援などを行っています。また、男性団員が行っている地域活動にも一緒に参加し、サポート活動などに取り組んでいます。



8月27日(土)に行われた市の総合防災訓練では、応急救護訓練や物資配給訓練などを補助。三角巾を

使った訓練では「女性団員なら、身体に触れられても安心だし、三角巾の使い方も丁寧に説明してもらえた」(30代女性)と活動に期待する声が聞かれました。赤ちゃんから高齢者まで皆に愛され、安心感を持ってもらいたい。そして、狭山市に住んでいてよかったと思われる存在でいられるよう、活躍の場を広げていきます。



あなたのチカラを消防団に

女性消防団員を随時募集しています。消防団には誰でも参加できます。あなたの力を、ぜひ地域の安全・安心のために役立ててみませんか。

応募資格 市内在住または在勤、在学の18歳以上で健康な方
応募方法 入団申込書(防災課に用意。市ホームページからもダウンロード可)を直接または郵送で防災課へ提出
問合せ 防災課へ内線3697



意外と知らない!? 図書館利用法



「狭山市の魅力づくり事業」に参加している武蔵野学院大学と武蔵野短期大学の学生

子どもから高齢者まで多くの方が利用している図書館。児童書や小説、実用書、専門書など幅広いジャンルの蔵書数は約66万点で、毎週200冊以上の資料を追加しています。図書館は、無料で本を貸し出すだけではありません。知って得する図書館の利用法を、市内の大学・短期大学に通う4人の学生に体験してもらいました。



図書館の利用方法



本を借りるときは、どうすればいいですか？

▼本を借りるときに、登録してご利用ください。

市内在住の方のほか、市内に通勤・通学されている方もご利用できます。

本を読むだけなら、登録の必要はありません。本を借りるときは、利用者カードが必要です。

登録するときは、運転免許証や健康保険証、学生証など、住所と氏名が分かる本人確認資料が必要です。市外にお住まいで、市内に在勤・在学の方は、通勤・通学を証明

4人が訪れたのは、狭山市駅西口から徒歩3分の「中央図書館」。道路に面した正面玄関は、実は2階です。館内に入ると最初に目に飛び込んでくるのが、児童書のフロア。夏休み期間中とあって、熱心に本を読む小学生や絵本の読み聞かせ会に参加する親子で賑わっていました。

らせん状の階段を上がって、3階にある一般図書案内カウンターで、図書館の利用方法を聞いてみました。

平成28年9月号のもくじ

- 3ページ 特集「意外と知らない!?図書館利用法」
- 6ページ まちの今...これから、市長が走る
- 7ページ クローズアップ「気象情報・防災情報の入手方法」
- 8ページ ひと・まち・写真館、さやまりポート、さやまの教育・元気なさやまっ子
- 10ページ 七夕写真館
- 11ページ いきいき自治会、Zoom upどうぶつ園、市民リレー「私の宝物」、ハロー仲間たち

- 12ページ 情報ガイド、市民のイベント
- 26ページ 保健センター 10月のお知らせ
- 27ページ 10月の相談案内
- 28ページ 残しておきたい狭山の風景、もぐもぐsayama、Myなでしこ ちふれASエルフェン埼玉、今月の写真クイズ、今月の納期、目で見るとさやま